

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 あゆみ教室		
○保護者評価実施期間	2025年12月8日		～ 2025年12月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年12月8日		～ 2026年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子での通園のため、保護者が療育の見学や参加をしたり、職員との情報共有や相談を受けやすい環境である。	保護者の療育見学や療育参加の時間を設けている。当日の療育の振り返りや気になることなどを直接伝えている。また、実際に療育に参加してもらうことで子どもの様子や療育の中で行われる声掛けや環境等を学んでもらうことができる。	保護者や利用児には概ね満足いただいている。今後も保護者の不安や悩みに寄り添いながら努力していきたい。
2	専門的支援(PT、ST)や音楽療育、療育相談、ペアレント・トレーニング等を実施している。	親子で専門的支援や療育に参加し、専門家の立場から子どもの様子を伝えてもらっている。	特にペアレント・トレーニングについて、ねらいや目的を丁寧に伝え参加者が増えるよう周知したい。
3	職員間や保護者、園、関係機関等と連携し、より良い支援に努めている。	日頃から職員間で情報交換を行い、支援内容や子どもの姿などの共通理解を行っている。また、必要に応じ園訪問や相談支援事業所とのモニタリング等の機会に情報交換を行っている。	より良い支援のために、今後も継続して取り組んでいきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や保護者同士(父母の会の活動等)の機会が少ない。	親子通園のため、利用日には控室で保護者同士の交流は行われているが、保護者全体の交流の機会を設定していない。	保護者同士のつながりの場の機会、例えば、保護者参加の療育や行事等の機会を検討する。
2	非常時における計画や対応、訓練等の周知が不足している。	安全計画の策定や非常時の各種訓練等は実施しているが、保護者に周知できていない部分があり認識されていなかった。	引き続き、丁寧に伝えていく。 ホワイトボードや掲示板等を活用し、利用日以外の訓練などの取り組みを周知する。
3	ホームページに概要や自己評価結果等は掲載しているが、保護者に浸透していない。	親子での通園のため、保護者への連絡や情報提供等は直接対面でできている。そのため、ホームページを活用した情報発信の保護者ニーズは少ないと思われる。	引き続き、ホームページの存在や自己評価結果等を公表していることについて、丁寧に周知していく。